

国際英語科 2年 学校設定教科ワールド・スタディーズ 「アクション発表会」報告

2月14日（金）の4・5限に国際英語科の2年生が、1年間取り組んできたゼミ活動について発表をしました。国際英語科の1年生が発表を聞き、各発表後に質疑応答が行われました。

国際英語科2年生の生徒たちは4月から自身の興味・関心に基づいたゼミに分かれ、それぞれテーマを持って活動してきました。戦争、同性婚、フェアトレード、防災、祭など、何らかの社会的課題についてこれまでゼミで調査・研究を進め、夏休みにはフィールドワークやインタビュー、冬休みから3学期にかけては、ゼミごとに社会的課題の解決に向けたソーシャル・アクションを実施しました。

この一年を通して、生徒たちは特定非営利活動法人こどもNPOの方々にはたくさんのアドバイスいただき、アクション実施につなげることができました。発表会に参加した1年生からも様々な角度から質問が出され、時間が少ない中ではありましたが活発なやり取りが行われました。コメントも多く寄せられましたので、以下に各ゼミでまとめました。

各ゼミの活動にご協力いただきました、こどもNPOの方々をはじめ、多くの団体様に感謝申し上げます。

生徒の声



日本の祭を守る

- ・文化と伝統という2つのテーマをつなぎ、データを用いて現状や課題を示していても信頼感のある発表だと思いました。
- ・ユネスコ協会への発表、ありまつラボなどのゼミ活動の成果や課題がそれぞれ詳細に述べられており、祭りの重要性や希少性が伝わった。

ひとり親家庭支援

- ・実際にその状況に置かれている子どもたちのこともしっかり考えられており、寄り添うゲームも発案されていて良いと思った。
- ・児童館に行って、生の声を聞いていて説得力があった。
- ・経済面だけでなく、精神面の支援も必要だということに共感しました。





ウクライナ支援

- ・アンケートから人々がウクライナ侵攻への関心を失っているという流れが分かりやすかったです。実際に募金を行ったり、ウクライナの料理を広めたりなど、アクションがしっかりとできていて良いと感じました。
- ・名東高校だけでなく、世界にもこの話を広めてほしいと思いました。

フェアトレード

- ・フェアトレードの商品は生産者のためのものなんだなとずっと思っていたけど、実際には消費者にもメリットがあり、生産者と消費者にとってwin-winだなと思った。
- ・「顔の見える店 Fair Trade 風s」さんと協力することによって、より多くの人々にフェアトレードの重要性が伝わっていてすごいと思った。



同性婚

- ・実際に同性婚に関する裁判を傍聴するため、自らの足を運び、積極的で行動力が凄いなと思った。
- ・弁護士の方の「同性婚は特別なことではない。平等を求めているだけだ。」という言葉から、私も無意識のうちに「特別なこと」と思ってしまうかもしれないと思いました。

見えない戦争を終わらせるために

- ・戦争のない社会のために、勉強することが大切だということが分かった。戦争について正しく知り、伝えていくことが平和につながっていくと思った。
- ・まず見えない戦争を初めて知ったので新たな学び！Unsung Hero カッコよすぎる。
- ・日本国内にとどまらず、韓国での現状なども調べられており良いと思った。





防災・減災

- ・防災は大切にしているけど、減災についてはほとんど知らなかったの、現実的な減災も大事にしていきたいです。
- ・地域で講演会を行ったことがすごいと感じた。
- ・非常用持出袋の点検による意識定着はとても良いアイデアだと思った。

子どもの未来を明るくする

- ・日本だけでなく韓国の学生に話を聞いたりして色々な悩みが具体的に紹介されていてイメージがしやすかったです。
- ・児童館でのお手製の紙芝居は、とてもインパクトがあっておもしろかったです。
- ・「笑顔を守りたい」というメッセージが良い。



ジェンダー平等

- ・個性としていろいろなものが認められる世界になってほしいと切に感じた。LGBTQ+の方々へのアンケートを行い、同性愛の絵本、トランスジェンダーの絵本を読み聞かせていた点が良かった。
- ・カナダの考えすばらしい！この考え大事！

異文化理解

- ・「差別」といわれると人種しか思いつかなかったのですが、宗教やジェンダー、障がいの有無で起きる差別があることを初めて知りました。
- ・継続的な支援や活動が難しい中で、多言語で書かれた本を図書館に置くというアプローチは、長期的にできてすばらしいと思いました。

